

はあもにい

第47号

第47号 発行/2025(令和7)年9月10日 藤沢市青少年指導員協議会 発行責任者/金子真由美 編集/広報委員会

『人を育てることは 人にしかできない』

藤沢市教育委員会
教育長 岩本 将宏



世の中は凄まじい勢いでデジタル化が進み、学校現場にもICTの活用が求められています。新型コロナウイルス感染症による長期の休校をきっかけに、GIGAスクール構想が前倒しとなり、現在では全国の学校において、子どもたちは一人一台の学習端末を活用して学習をしています。加えて、生成AIの登場により、学校教育は過去にないほどの変革の時代を迎えていると感じます。このデジタル化に向けての急激な変化については、前のめりになることなく、慎重に対応するべきと感じています。

私は、子どもたちの教育は、人の手や人の心で行われることが何より大切であると信じています。青少年指導員協議会の活動も同様だと思いますが、深い愛情や思いやり、献身的な支援なくして子どもたちの健全で豊かな心は育ちません。家庭・地域・学校が、しっかりと連携し、それぞれの役割を自覚し責任を果たすことが、すべての子どもたちの笑顔につながるのだと思います。

先進技術は上手に活用しながらも、「人を育てることは、人にしかできない。」という想いを胸に、大人としての責任を果たしていきたいと思っています。

『子どもたちと共に楽しみながら活動を』

藤沢市子ども青少年部
部長 三ツ井 幸子



青少年指導員の皆様におかれましては、日頃から青少年の健全育成、非行防止にご尽力を賜り、誠にありがとうございます。

今年3月に策定した「藤沢市子ども・若者共育計画」の計画の名前にある「共育（ともいく）」には、全ての子どもは地域で共に育ち、地域で共に育てるという想いを込めています。計画の策定過程で「こどもにやさしいまちってどんなまち？」と子どもたちにアンケートを行なったところ、「生活における安全安心」「自分の意志でやりたいことをやれる」「遊びや体験の充実」「自分の意見が尊重される」「周りの人のとる態度（がやさしいこと）」などの意見が聞かれました。

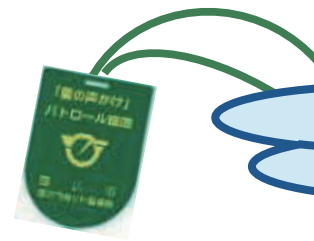
こうした声から、子どもたちを見守り育ててくださった青少年指導員の皆様をはじめとした地域の大人たちの存在が、いかに大きな意味を持ち、心強いものであるかを子ども自身もしっかりと感じとっていることがわかります。ぜひ、子どもたちと共に楽しみながら活動をしていただきたいと思います。

皆様は、今年度、任期2年目を迎えられていることと思います。藤沢の子どもたちが笑顔で、健やかに育つよう、引き続きお力を賜りますようお願い申し上げます。



青少年指導員協議会の活動を載せたHPをご覧ください





青少年指導員って何をしているの？



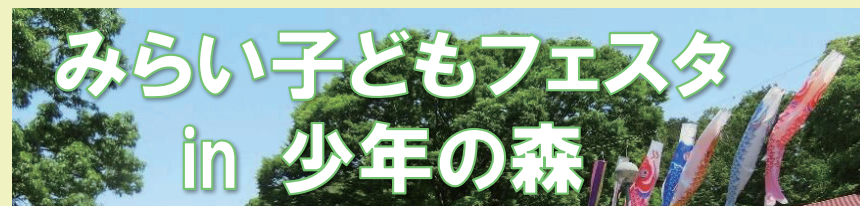
青少年指導員として
一緒に活動しませんか



青少年指導員は、青少年の「健全育成」と「非行防止」を目的に青少年に関わるさまざまな活動を行なっています。
藤沢市内14地区の青少年育成協力会と、公立小・中学校より推薦を受けた各地区の代表が藤沢市長及び神奈川県知事から委嘱されています。
任期は2年間。今年度で任期満了のため、来年度は改めて委嘱となります。各地区で募集されますので、一緒に活動しませんか？

～ 青少年指導員のおもな活動内容 ～

- ★JUMP UP U-20 WINTER CONCERT ……音楽活動をしている青少年に発表の場を提供しています。今年度は12月21日(日) 藤沢市民会館大ホールにて行ないます。 入場無料!!
- ★創作・メンテナンス活動 ……人形劇、エプロンシアターの創作や修理、缶バッジ作製(広報活動)をしています。また「みらい子どもフェスタ」へ参加しています。
- ★各地区での育成事業 ……各地区の青少年育成協力会の一員として、子ども向けの事業を行なっています。
- ★地区パトロール ……月2回、通学路などのパトロールをしながら子どもたちへの声かけをしています。緑のワッペンが目印です。
- ★街頭キャンペーン(年3回) ……7月、12月、3月に市長をはじめ市や県、諸団体と協力して藤沢駅・湘南台駅・辻堂駅周辺で青少年の被害・非行防止を呼びかけています。
- ★非行防止ポスター展 ……市内の中学生から非行防止ポスターを募集しています。10月24日(金)～11月4日(火)藤沢市役所本庁舎ラウンジ(1階・5階)にて展示予定です。
- ★青少年にとってのよい環境を考えるつどい ……例年7月こども家庭庁主唱「青少年の被害・非行防止全国強調月間」に、講演会を開催しています。
- ★藤沢の子どもたちの現在(いま)をまなぶ会 ……学校関係者より藤沢の子どもたちの現状を知る大切な機会です。
- ★広報活動 『はあもにい』編集発行 ……従来通りの広報紙配布に加えて市立小中学校・白浜養護学校へは、すぐるアプリにて配信しています。昨年度よりカラー紙面となりました。
- ★全体研修 ……子ども向けのゲーム指導や講演会等を実施し、指導員としてのスキルアップに向けて学んでいます。各地区での事業にも役立てています。



5月5日(月・祝) こどもの日 快晴! 楽しいイベント♪



ふじキュンの缶バッジ作り



エプロンシアター



竹馬



竹ぼっくり

コツをつかむまで
意外と難しいです

普通救命講習【Ⅲ】



4月22日(火) 藤沢市民会館第二展示集会ホール

消防・救命救急指導員の方々のもと、講習会を実施しました。
青少年指導員75人が8班に分かれ、成人・乳幼児の人形を使用し、心肺蘇生法、AEDの使用方法、異物除去法、止血法、応急手当等を学び、3時間の講習。いただいた救命講習テキストを見返し、いざという時、今日学んだ知識を活かし勇気を持って行動できるよう心がけたいです。



青少年の被害・非行防止全国強調月間キャンペーン

7月1日(火) 藤沢駅南口

雨天のため規模を縮小して青少年指導員で啓発物品を配布しました。

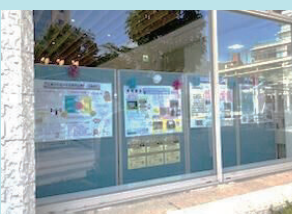
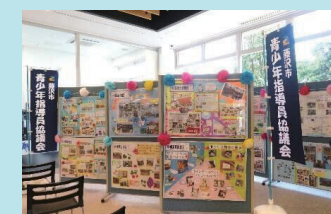
7月2日(水) 辻堂駅

川崎副市長のご挨拶の後、県や市、諸団体の協力のもと、青少年の被害・非行防止と薬物乱用防止等の呼びかけと啓発物品を配布しました。



青少年指導員の活動パネル展示

より多くの方に青少年指導員の活動を知っていただくために、本協議会と14地区それぞれの活動内容をパネル形式にて展示しました。



7月23日(水)～7月30日(水) 藤沢市役所分庁舎1階 ロビー

鈴木市長のご挨拶より始まり、有意義な講演会が開催されました

子どもたちが 『本当にやりたいこと』が見つかる学校

～世田谷区立桜丘中学校の実践～

講師 世田谷区立 桜丘中学校 元校長 西郷 孝彦 氏



プロフィール 1954年横浜生まれ。幼少児から、横浜山手や米軍基地の異国の文化に触れながら育つ。上智大学工学部を卒業後、1979年より都立の養護学校（現：特別支援学校）をはじめ、数学と理科の教員、教頭・副校長を歴任。2010年より10年間、世田谷区立桜丘中学校長に就任し、インクルーシブ教育を学校経営の中心に据え、校則や定期テスト等の廃止、ICTの活用、個性を伸ばす教育を推進した。

やりたい事はなかなか見つかるものではない。

やりたいと言ったことをたくさんやらせて、失敗をたくさんする。失敗がたくさんある人こそやりたい事が見つかる先生はおっしゃいました。

桜丘中学校では、校則がないというのが特色でもあります。それよりも人は違う方がいいという価値観、みんな違っていいという多様性の受容が最も大切なことだと感じました。違う個性をもっている子ども一人ひとりを大切にしてくれるという安心感が子どもたちを支えているのだと思いました。

印象に残ったのは、卒業生の映像を紹介する中で「桜丘中学校は自由、自由だからこそ責任を持たないといけない」と言っていた事です。

それは、先生の考えている事が子どもたちにきちんと伝わっている表れだと思いました。

『愛情をもって多様性を受け入れること』

私たちにとって、とても考えさせられる素晴らしい講演会でした。

○社会環境実態調査

例年7月のこども家庭庁主唱「青少年の被害・非行防止全国強調月間」に神奈川県の実情を受けて実施します。深夜営業の状況、18歳未満への深夜入場制限の表示等、条例に基づく措置が取られているか、カラオケボックスや図書類取扱店に訪問調査し報告しています。

○青少年夏期特別街頭指導パトロール

夏季休業中に、青少年課主催で夜間パトロールを実施しました。

●藤沢駅 7月22日(火)・8月19日(火)

●湘南台駅 7月24日(木)・8月21日(木)



藤沢駅南口 横断幕掲示期間：7月3日(木)～8月28日(木)

編集後記

青少年指導員について、わかりやすくお伝えする紙面づくりを心がけています。

これからも未来を担っていく、現在（いま）の子どもたちのために協議会での活動を発信し続けてまいります。多くの方に私たちの活動を知っていただくと嬉しいです。